

弊社の経緯

わたくしども（株）サンセレモホールディングス（以下 HD）はそもそも北海道札幌市を本社とした（株）北海互助センターが前身で、14年前に休眠していたところを名称変更し新たなミッションとして福岡県筑後地方に拠点を置く（株）サンセレモを救済し、再度稼働し始めた会社となります。（株）サンセレモは冠婚葬祭互助会の許可を九州で一番最初に得た歴史ある会社です。救済したものの母体は九州が中心です。名称も平成23年4月に（株）北海互助センターから（株）サンセモホールディングスに変更し現在に至ります。

わたくしは弊社に平成30年7月より代表に就任しておりますが（株）サンセレモHD設立以来事実上経営トップのお仕事をさせていただいております。この14年間、会計変更などの特殊事情の年を除き毎年経常黒字を捻出し続けました。

現在は救済時に抱えていた当初の欠損金は（株）サンセレモ HD が誕生してから今までの毎年の経常利益の合計でほぼ解消したこととなりますが、設立当初の機会にバブル期の不動産の評価も正常化すべく全て評価替えしたため、このマイナス分が非常に大きく、スタートがそもそも大きなマイナスから走っているため、ある意味これは成長への大きな目標をいただいたのだと言い聞かせ、スタッフ一同日々精進しております。またこの14年間にいくつかあった不透明な会計処理などもほぼ正常化し、経営を安定、透明化させております。

これまでわたくしどもが目指してきたのは、

- 1 （株）サンセレモ（旧名 久留米互助会）が九州で一番最初に互助会の許可を受けて築いてきた歴史と地域密着を大切にすること**
- 2 それまで「安くしてお客様の評価を得る」という方針を一転し、「安からう良からう」ではなく、結婚式もお葬式も地域で一番の内容とサービスを誇るブランドとなるべく全てが上質を目指すということでした。**

このため社訓を「人で負けない」「よりよいものを売る」と新たにし、長きに渡りこの新しいブランドの構築を行ってまいりました。

弊社の現状

さて、弊社は社歴を（株）サンセレモからとすると歴史は古く、九州でも一番最初に互助会としての許可を経済産業省（当時通産省）より受けた会社です。弊社は引き受け当時（株）サンセレモより多くの欠損金を引き受けスタートしましたが、現在この当時の欠損金相当額分は（株）サンセレモホールディングスが**発足当時から現在まで9年間毎年黒字経営を続けてきた**ことで償却してきております。中には赤字の年が1年ございますがこれは式場立ち上げ事業の前年度に1年間開業準備室を設けたことにあり、この立ち上げ費用の数値を考慮すると、発足以来現在まで実態としまして毎年黒字経営を継続してきたこととなります。

これはひとえに（株）サンセレモホールディングス事業発足時より大手互助会の支援とアドバイスを受けてこれたこと、また互助会保証株式会社、金融機関などステークホルダーの方々のご協力を得て、弊社の事業がより多くの方々のご支援の上の成り立ってきたからと承知しております。

また特に直近は優れた幹部が弊社に定着しさらに急速に各数値が改善できております。直近の弊社の数値は発足以来懸案事項であった婚礼部門の低い契約率が30%より50%に急速に改善していること、この結果がこの3月より大幅に改善される予定でした。このため現在婚礼部門の打撃を受け婚礼売上比率の高い互助会はファーストコロナの打撃を受けて赤字のところが多いなか、**弊社は前期黒字決算（R2.6月期）で終えることができました。**ちなみに当期は経常利益が黒字ながらも当期純利益がマイナスになっておりますが、**これは当期計画的に繰延税金資産の先々のシミュレーションを変更したため特別損失を捻出したことによりです。**

またコロナ禍の現在、弊社のキャッシュ対策ですが、現在順調に財務体質の強化が進んでいることにより、シミュレーションすると緊急支援対策としての借入がなくてもキャッシュにはほぼ影響がなかった為に今回コロナ対策緊急支援の借入を行っておりません。またコロナ禍を受けた今回の決算も弊社の現預金、流動資産、有効キャッシュ（非担保性預金など）すべてにおいて前年度より増加いたしました。こちらは互助会部門の拡大が急ピッチで進んでいるので予想より財務体質の改善が進んでいるものと思われます。ご承知の通り婚礼業界、婚礼部門はコロナ禍の現在赤字のところが多いのですが、弊社はこれを変革のチャンスと捉えて前向きに次の課題へと取り組んでまいります。